

川崎幸病院が新体制に

－平田名誉院長 岩井院長－

川崎幸病院の院長が交代になりました。これに伴う院長引継ぎ式および新体制の下で内外の諸課題に一致団結して当たるための決起大会は9月17日、川崎グランドホテルにおいて本部職員および川崎幸病院の医師、幹部職員が集合して盛大かつ和やかに行われました。はじめに石井理事長から平田先生の5年半の院長としてのご苦勞を慰勞すると同時に今後とも名誉院長として新院長を支えて欲しいという希望が述べられ、岩井院長には川崎幸病院のリニューアルに向けてまい進して欲しいと言う期待が述べられました。



〈古杉室長と院長〉

本部主催病院長引継ぎ式 及び 病院主催決起大会



〈理事長、平田名誉院長、岩井院長がしっかりと握手。〉

次に看護部からの新旧院長への花束贈呈を経て平田院長のあいさつ、岩井新院長の決意表明があり、その後辻田本部事務局長の乾杯の音頭を皮切りに立食パーティーが始まりました。会の途中では30年勤続し今年定年退職を迎える古杉検査室長への感謝状が岩井院長から送られました。

本紙タイトル『海燕』は、M・ゴーリキーの散文詩『海燕の歌』（1901）に由来しています。

その大意は以下のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。

……暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海。戸惑い騒ぐばかりの鳴らの群を尻目に、
海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

（編集部によるダイジェスト）

会は、なごやかにかつ空前の盛り上がりとなりました。ここに当日のスナップの一部を披露します。

(他にも傑作なスナップがありますが全部を披露するのはためられます(笑)。-編集部)



〈美女軍団に囲まれにこやかな名誉院長〉



〈怪力をもって鳴る某科長に上半身を、名誉院長に足を抱えられVサインをする新院長。これぞチームワークの見本。〉

【平成15年度石心会業績中間総括】

事業体のアクティビティの指標としての期間利益は非常に意義が深いものです。平成13年度に石心会単独で5.44億円の経常利益をだし、神奈川県医療法人所得ランキングでベストテン入りしたわがグループが平成14年度は年度途中で昭島腎クリニック(人工透析)を仲間に加えていながら約1億円の利益を出すにとどまった事は医療費のマイナス改定があったとはいえ非常に残念です。その意味で本年度に収益のV字回復ができるかどうかは極めて重要な意味を持ちます。換言すれば今後石心会グループがバイタリティーに溢れた優秀な医療施設として生き残れるかどうかを占うものと言って過言ではないと思います。

本部事務局長 辻田 征男

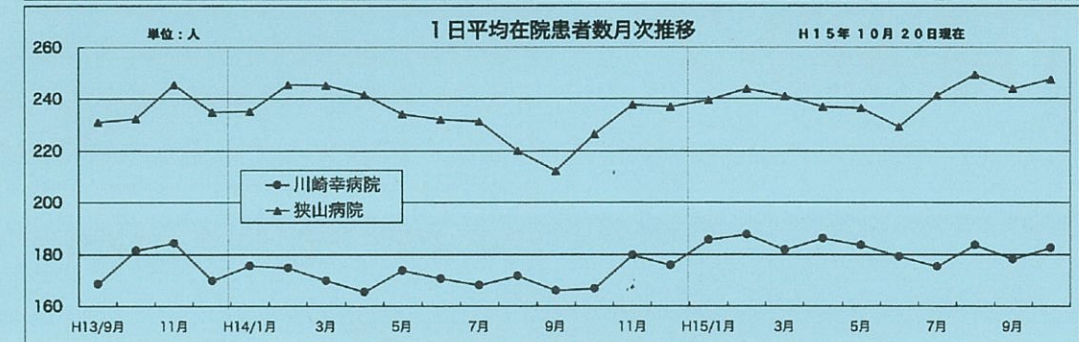
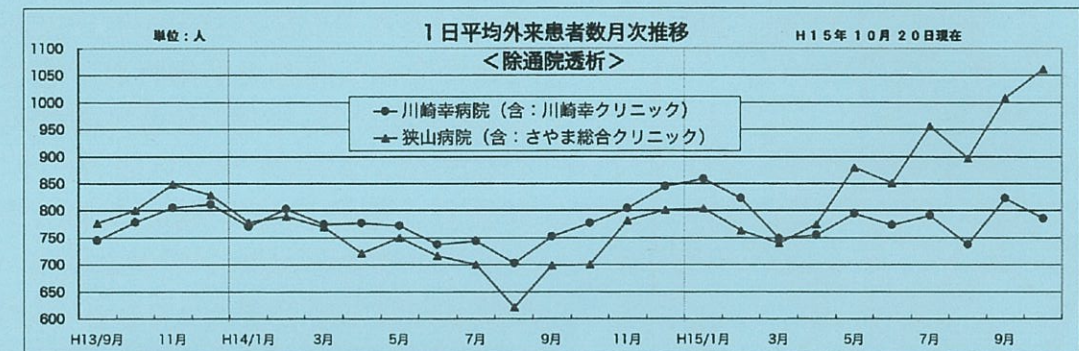
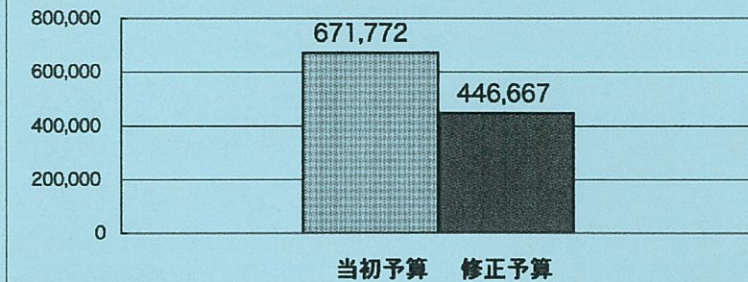
今年度は、3月に法人の機関決定を経て定められた当初予算が再検討されて修正予算となっています(図表参照)。今年度上期(4-9月)の予算対比実績は昨年実績を上回り、予算も達成していますが実数はまだ23,000(千円)程マイナスとなっています。これを下期(10-3月)の予算を達成する事によって年度の目標に達しなければなりません。昨年は下期に業績が下降したさやま病院が今年は右肩上がりで業績が回復しております。又、さやま総合クリニックの1日あたりの外来数はすでに9月から1,000名を突破しています。この新聞が発行される頃には下期の最初の月である10月が終ろうとしています、これから益々気候が寒さを

増し重症の患者さんが増加する下期に頑張ってぜひ目標を達成していただきたいと願っています。同時に医療事故や

SARSへの対応ミスなど施設の信用を失墜させるようなリスクを招く事のない様万全を期していただきたいと思います。

【図表】

単位：千円 H15年度当初予算対修正予算(利益)



【狭山病院ERスタート】

「救急医療は私達の組織的原点であり、旗印でした。」「救急なくして石心会無しと言って差し支えありません」石井理事長-海燕15号より

狭山病院 看護部 ICU・救急救命室 科長 勇節子

9月19日、4期にわたる病院外来の改装工事が終了し、新たに救急外来としてスタートしました。そこには、新旧2つの救急室と7床(内2床個室)の夜間入院対応ベッド、及び4床の化療室、5つの診察室が一体化し、ホールディングルームとして機能しています。7床を挟んだ形で位置

する新旧の救急室は、それぞれ異なった機能を持っています。特に、新救急室は、ホールディングルーム内に直接位置していることで、複数の救急車が同時に来院しても、随時ホールディングベッドに収容が可能になる、という利便性を持っています。



急性期一般病院としての機能拡大を目的とした救急外来は、従来患者サービス課が受けていた救急要請を、10月6日より看護師が受けるようになりました。また、同月20日救急要請ホットラインが開通し、看護師が直接救急要請を受けることが可能になり、新たな救急体制に向けて取り組んでいます。救急に限らず外来においては、患者さんの状態に応じたトリアージ能力が求められています。さらに、救急要請については、救急隊からの限られた情報から、その患者さんの状態を把握し、使用する救急室の選択と、医師への的確な情報伝達能力が問われてきます。三次救急を含む、当院の救急対応を円滑にするためには、欠かせない能力になっています。短時間で的確に判断できるトリアージ能力を培い、各科先生方と各部署の協力の下、一人でも多くの救急患者さんを受け入れていけるよう努力していきたいと思います。

また、ERという狭山病院の辿り着いた最新の医療システムを一人でも多くの救急患者さんに利用していただき地域医療に貢献できればと願っています。

【川崎幸病院・大動脈センターが開設】

川崎幸病院・大動脈センターは、近年非常な増加傾向にある大動脈疾患（大動脈瘤、大動脈解離）を専門とすることを目的に本年7月1日に開設され、既に多くの手術を手がけています。

大動脈疾患は特殊な疾患にもかかわらず、これまで専門診療施設が存在せず、その結果他の循環器疾患に比べ治療成績は満足の行くものではありませんでした。センターの開設で多くの患者さんの命が救われ、川崎幸病院および石心会グループの

知名度が更にアップする事が期待されます。センター長はこれまで日本全国でも有数の手術実績を持つ山本晋医師。詳しくは川崎幸病院ホームページ <http://www.sekishinkai.or.jp/saiwaihp/index.html> をご覧下さい。

又、より精密な情報は川崎幸病院ホームページにリンクしている山本先生手作りのホームページで得られます。

<http://www.daidomyaku.com>

【鹿島田クリニック移転計画の概要決まる】

鹿島田クリニックの移転の概要と日程が決まりました。再開発計画地域にある現鹿島田クリニックは計画の完成によって約数10メートル離れた神奈川県住宅供給公社の新しい建物にリニューアル移転します。新しい場所では人工透析だけでなく内科を中心とした外来診療を行います。人工透析部門は平成16年1月12日から、外来部門は平成15年4月1日から新しい場所での診療を開始します。

人工透析部門は移転に伴い現状の52床から76床に拡大となります。人工透析は従来から鹿島田クリニックの大きな特徴となっているオンラインHDFを継承した大型施設として今後益々話題となるでしょう。新しい施設は鹿島田駅から伸びるペデストリアンデッキを経て雨にぬれずに施設へ到着する事が出来ます。又、鹿島田駅は改装されてエレベーター

付きの駅となり、この事も透析の患者さんにとって朗報となります。

外来部門は「シーメンス製6列マルチスライスCT」「超音波診断装置」「内視鏡」「CR」等を備えたかなりの重装備のクリニックとなります。その意味でこの外来は人工透析患者さんのサポートをする施設であると同時に検査機器の共同利用などを通じて地域の診療所をサポートする施設となるでしょう。運営方針としても積極的に診療連携を進める事が確認されています。診療科は内科を標榜し、糖尿病、腎臓病、循環器疾患など人工透析と関係の深い病気を中心に診療を展開します。川崎地区の他施設との間は相互に電子的に医療情報を閲覧できるようシステムが構築される予定です。

※鹿島田クリニック外来診療責任者は
竹内克彦（川崎幸クリニック）医師



鹿島田駅東部地区第一種市街地再開発事業

《趣味探訪》

50代からのスキューバ・ダイビング

川崎幸病院看護部長 中澤 典子

加齢と共に体力の衰えを感じはじめた私は5年前からプールで歩くことを始めました。インストラクターに恵まれたことも在り、今日まで続けることが出来、クロールと平泳ぎもできるようになりました。息子が大学のスキューバダイビングクラブに所属していたのが縁でダイビングの世界に飛び込むことになりました。



中澤典子看護部長

●ライセンス取得への挑戦

夫と二人で今年2月、真冬の大瀬崎、通称おせでライセンスCカード取得の講習を受けました。初めてボンベを付けて水に潜ったとたん世界が一変しました。こわばった足腰でボンベ等の重量20kgの重さに耐えていましたが、腰の当たりまで入水すると、フワッとして重さが無くなり、顔が水に入った途端に音が消え、孤独で冷たい世界を実感しました。

レギュレーターで口から呼吸をする。口からしか呼吸が出来ないので、慣れるまでは口から水の侵入を防ぐことに意識を集中することになります。水深2メートルぐらいでも不安になる、さらに3、4、5メートル潜る。太陽のキラメキが頭上遠く、完全に水に閉じ込められ水圧が序々にかかる。ドライスーツの中の空気に圧力がかかり息苦しく感じて、閉じていたはずの口から無情にも瞬く間に濃い目の塩水が入る。一気に食道と気管に入ってくる。レギュレーターを咥えたまま咳き込み、むせ返った瞬間パニック状態に陥り、無意識のうちに海上を目指し急浮上。喉の痛みを感じた時ライセンス取得の夢は文字どおり海の泡と消えていました。

●2度目のチャレンジ

初回で恐怖心を体験したにもかかわらず翌月2回目のライセンスにトライしました。水中マスクから水を追い出したり、レギュレーターを海中ではずしたりくわえたり、中性浮力を得るため浮袋と自分の肺の浮力を調整して、浮き上がりず、沈まず任意の深さに留まる練習等を何度も何度も繰り返しました。

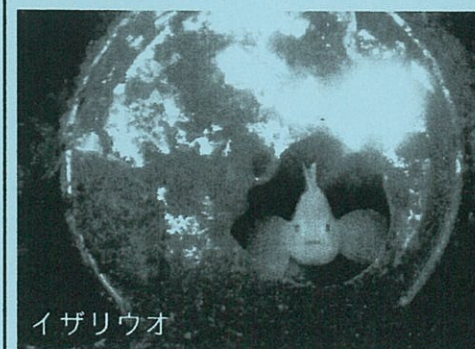
考えすぎずにこれらの動作がスムーズにできる様練習を繰り返すのです。しかし恐怖との対面は続きまだまだパニックを乗り越えられません。高所恐怖症も災いしたのかもしれませんが。何しろ海中には高低が深くあり、最初にそれを目にしたとたん恐怖心が強まったのです。(但し、決して落ちることはないのですが……)

●3度目のチャレンジ

最小限の基本動作を体が覚えて、ようやく水中散歩ができるようになりました。パニックへの恐怖は今でもあります技能を体得する中で自信に変わっていくように思います。5月18日待望のライセンスCカードが取れ安堵の気持ちが先に立ちました。講習といえども既に海中の光景を毎回見ていましたので海中散歩の憧れがますます大きく育っていきました。Cカードが届いた時は次はファンダイビングだと嬉しさが込み上げてきました。今思えば親子3人一緒に海に入りたい一心だったのでしょうか。夫は1回目のトライでライセンスを取得できましたが私の方はようやく三度め。息子からは1度失敗すると再チャレンジする人は少ない、ましてや三度チャレンジする人は殆どいないと聞かされ「……？」私の場合は家族を含め周りの方々の応援があったからこそと思いました。

ダイビングポイントは伊豆半島の大瀬崎です。ダイビングショップはごろもマリンサービスに毎回お世話になっています。大瀬崎は伊豆半島の付け根の西側にあり小さな岬が駿河湾に突き出ています。その岬が外海と初心者でも安心して潜れる静かな内海とを形作り、魚影の濃いことで知られています。こんな私でもここでのビギナーとしてのダイビング体験が14本になりました。(1回潜水することを1本といいます。)

先日9月28日は前夜に大瀬崎に入り翌日2本のダイビング。午前10時に1本潜り、2時間程きれいな入り江を眺めながらボーとしてすごし、その後ウトウトと昼寝タイム。午後1時からもう1本潜り、ゆっくりと温泉で身体を温め夕方に大瀬崎をあとにしました。キンギョハナダイ、オキゴンベ、アイゴ、ウツボが自在に遊泳しています。ミザダイ、キビナゴの群れに囲まれ、ほらは1、2、3と列をなして泳いでいます。外海の雄大さに感嘆し、魚群に囲まれてダイビングを堪能しました。海中撮影初心者の夫が撮影した水中での写真は恐怖心を少し乗り越えた頃の私です。石心会にはダイビングの経験者が多くいらっしゃいます、そんな中で経験が1年にも満たない私がダイビングの話をするのは、心苦しいのですが、50代で手探りの挑戦を続けているのは、海中への好奇心と憧れが芽生えているのかもしれないかもしれません。ダイバーの皆様、あなたが大好きなスポットのご紹介をお願いします。そして一緒に潜り心強いバディになっていただけたら最高です。-----



イザリウオ

ダイビング・スポット 湘南をもぐろう www.aquajack.jp

■ダイビングハウス **Aquajack** (アクアジャック)

横須賀市秋谷5575 ☎ 0468-56-1311 e-mail: info@aquajack.jp

南葉山のクラブハウスをベースにツアー&講習。ちょっとぜいたくなダイビングスタイル。電話又はe-mailでお問い合わせ下さい。石心会グループの職員の方とって頂ければ特典があります。





さやま総合クリニック

ヘルシーコンサート

■各回とも満員、大好評でした。

- ・ 8/ 9 「ようこそジブリの森へ」 ピアノ：五十嵐 雄一
もののけ姫、トトロ、天空の城ラピュタ 他
- ・ 8/16 「ショパン気高い魂の調べ partⅡ」 ピアノ：鈴木まりえ
エチュード、プレリュード、ノクターン集より 別れの曲等
- ・ 8/23 「ウィーンの響 part1」 ピアノ：山田明里
モーツアルト トルコ行進曲、ベートーベン ピアノソナタ月光等
- ・ 9/13 「ロマンス partⅠ」 ピアノ：片桐みどり
モーツアルト ピアノソナタ、シューベルト 即興曲等
- ・ 9/20 「特別コンサート<スタンウェイナイト Ⅱ>「秋麗」
奏者：トニース・ストリングス・カルテット+3
- ・ 9/27 「歌は心のビタミンⅡ」 ピアノ：阿蘇博子
ソプラノ：磯部百子
- ・ 10/11 「ロマンス partⅡ」 ピアノ：片桐みどり
- ・ 10/18 「ショパン気高い魂の調べ partⅢ」 ピアノ：鈴木まりえ

★トピックス

【川崎幸病院】

- 7月26日 納涼祭(町内会より、盆踊り、フラダンスの参加がありました)
- 9月11日 川崎市消防局主催 第3回「普通救命講習会」参加27名。
- 9月17日 院長引き継ぎ式&総決起大会開催(特集参照)。
- 9月19日 第23回院内研修会開催『事故防止の為にm-SHEL分析』
講師 狭山病院荒木科長
- 定例救急隊勉強会が開催(市内、鶴見の救急隊員が参加されました)。
7月16日及び23日 『急性腹症について』(外科：後藤学医師)
9月18日及び10月9日 『腎不全患者について』(内科：中島豊医師)

【狭山病院】

- 7月26日 納涼祭(地域の方が多く集まりました)
- 8月23日～25日 狭山市青年会議所のキャンプ支援(看護師2名参加)
- 8月25日 川越市立大東西中学校の社会体験授業受け入れ

- 9月3日 (ER)ホールディングルーム及び新救急救命室使用許可
平成15年度 第1回医療安全対策講習会
講師 日本大学医学法医学 教授 押田茂寛 参加者 169名
- 10月9日 救急看護シリーズ 『狭山消防隊員による救急救命活動』

【川崎幸クリニック】

- 公開講座 8月26日 『タバコの弊害』 川崎幸病院内科副部長 赤羽重樹
9月3日 『心と体の健康管理』 川崎幸クリニック院長 杉山孝博
- 気功教室 8月21日 8月22日 9月17日 19日
- 食事教室 8月20日 9月25日
- 防災訓練 9月19日
- 9月27日 第2回川崎幸クリニック研究発表会 “開院5周年お祝い”

【さやま総合クリニック】

- 9月24日 狭山保健所管内給食研究会 より見学受入
外来糖尿病教室
第1回～第4回 9月3日、10日、24日 10月15日、22日
外来栄養教室
8月28日『高齢期の栄養障害』 9月25日『肝臓病教室』
〈書籍掲載〉月刊 新医療10月号
- 9月1日 高齢者健診開始 健診者数533人(9/30現在)
- 9月17日 患者サービス向上委員会を設置

【在宅サービス部門川崎地区】

- 9月3日 健康教室『心と体の健康管理』
新川崎在宅介護支援センターと川崎幸クリニック共催
〈書籍掲載〉『おはよう21』(中央法規) 介護職が知っておきたい医学知識
さいわいヘルパーステーション、幸クリニック訪問看護室、すこやか薬局

【特養オリーブ】

- 7月23日 口腔ケア研修会実施
- 7月28日 竜崎五郎歌謡ショー
- 8月3日 第三回納涼会 盆踊り、エイサー、フラダンス、ソーラン節
- 8月13日～27日 学生ボランティア体験学習を受け入れた。
狭山台中学校、狭山清陵高校、川越大東西中学校 11名参加。
- 9月1日 大正琴演奏会
- 9月11日 あおば幼稚園 園児と交流
老人ホーム入園者創作品展へ5作品出品
- 9月15日 オリーブ敬老会 三浦様のオペラ、鵬懂会の尺八合奏
- 10月12日 運動会